

顕彰会便り

第23回津田左右吉賞の結果について

平成19年11月10日

津田左右吉博士は「子供たちのために」と言って、自分の著書などを下米田小・中学校に贈りつけていました。これが下米田小学校に残る「津田文庫」です。博士

の没後は、津ね夫人が同校へ多額の寄付金を贈られました。その厚志により博士の文庫を製作し、卒業生に「津田賞」として贈っています。現在は、このような事業を顕彰会が引き継いでいます。



そして、「あなたの夢」。「津田左右吉博士」をテーマに作文募集を毎年行っており、その授賞式及び作文発表会・記念講演会が津田左右吉博士記念館（美濃加茂市下米田町）で開催されました。今回の作文応募数は五百九十五点、参加学校数は岐阜県内の小中学校から三十二校となりました。

授賞式終了後には、井上裕一さん（早稲田大学文化企画課長）による記念講演会「夢と友と学問（大学）——津田左右吉と駒井和愛と考古学——」が行わ

No.24

平成20年(2008)3月31日
編集・発行
津田左右吉博士顕彰会
美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL 0574-28-1110

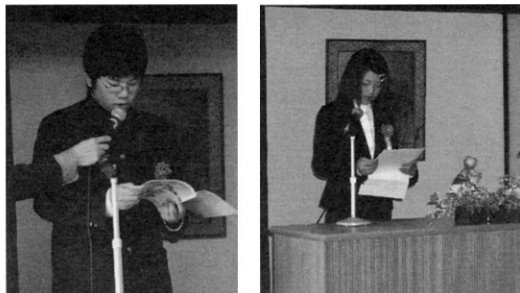
第23回津田左右吉賞受賞者一覧

れました。

井上さんは、早稲田大学に入学後、考古学を研究されていました。

その後は研究活動と共に、発掘調査によって得られた資料や博物館資料を大学で活用できるよう、イギリスの博物館や美術館でも調査を進めてきました。そのような成果を現在のお仕事に生かされています。

講演では、「夢は実現する」と強く思う気持ちが大切であり、それに向かって挑戦する気持ち、踏み出すための力をつけることが大事であること。その際、自分の足りない部分を振り返り、それを獲得できるように考えて行動していくことが大事なのではないかとお話されました。井上さんは、それを考古学という学問を通じて「学び問いかけている」ことなど、現在の夢についてもふれることで、受賞者へのメッセージとされました。



(小学校5・6年生の部)

最優秀賞

飛騨市立神岡小学校6年 中居美琴 私の夢

優秀賞

美濃加茂市立太田小学校6年 若井咲月 人を助ける「介護福祉士」
美濃加茂市立伊深小学校5年 福田健人 ぼくの将来の夢

佳作

美濃加茂市立太田小学校5年 竹林雅貴 ぼくの夢
美濃加茂市立蜂屋小学校5年 今井陽美 私のしょう来の夢
美濃加茂市立下米田小学校6年 酒向 駿 僕の夢

(中学生の部)

最優秀賞

岐阜市内中学校 3年 M・I ぼくの夢は、人を元気にするDJ

優秀賞

大垣市立東中学校 3年 稲川徳人 夢
美濃加茂市立西中学校2年 井指未来 私の夢が叶うその日まで…

佳作

美濃加茂市立東中学校1年 鹿野里恵 私の将来の夢は、「保育士」
可児市立西可児中学校3年 中澤晃大 僕の将来の夢
美濃加茂中学校 2年 遠山佑衣 津田博士について

* 中学生の部最優秀賞受賞者氏名の公表を差し控えました。不登校を経験し、それを克服しようとしている生徒による作品へのご理解をお願いします。



津田左右吉博士記念館



「夏休みお楽しみ会」(8/18)
マジックショーなどの楽しいイベントでした



「津田左右吉集會」(3/17 下米田小学校にて)
土屋保さん(元津田博士顕彰会長)による講演など



「日本の伝統にふれる」(7/22)
茶の湯・生け花・尺八や琴の演奏にふれることができました



「記念館で音楽授業」(2/21)
日本の伝統楽器「琴」を下米田小6年生が学びました
写真提供 下米田小学校



「プチお楽しみ会」(6/23)
東中学校生徒が活動の中心になってくれました



「お正月の生け花」(12/29)
毎月の講座の「お正月」バージョン



「百人一首大会」(1/6)
熱い戦いが繰り広げられました

津田博士への メッセージ

平成19年度も、津田左右吉博士顕彰会が行う事業などを通じて、多くの地域の方が記念館に足を運んでくださいました。また一方で、地域の方による津田博士への思いから、記念館や学校で活動が展開されています。これらの活動を通じて、より多くの皆様に「津田博士」はもとより、郷土とのつながり、日本の歴史や伝統文化を大切にされた「津田博士の願い」をお伝えしたいと考えています。
ここでは、そのような活動を、「(後世に生きる私たちが)津田博士へのメッセージ」として、ご紹介いたします。

平成19年度 津田左右吉博士顕彰会・津田記念館の活動

月	内 容	月	内 容	月	内 容
4月	津田記念館管理委託契約（顕彰会・シルバー人材センター：4/1～3/31） 各週水、土曜日にさくらの会（代表中田光子氏）の活動を記念館にて継続して開催。	8月	夏の特別イベント「夏休みお楽しみ会」を開催 （津田記念館／さくらの会・東中学校1年生共催）（8/18） 「ふしぎな手品ショー」、「バルーンアート」、「くじびき大会」が開催された。	12月	「お正月の生け花」講座開催（津田記念館／さくらの会共催）（12/29）
				1月	冬の特別イベント「百人一首大会」開催（津田記念館／読書サークル米田会共催）（1/6）
5月	津田左右吉博士顕彰会役員会、理事会を開催（5/29）	9月	「第23回 津田左右吉賞」作文コンクール審査委員会開催。受賞者を決定（9/27）	2月	下米田小学校6年生による、日本の伝統楽器「琴」についての音楽授業（津田記念館）（2/21）
6月	初夏の特別イベント「プチ お楽しみ会」を開催 （津田記念館／東中学校1年生・さくらの会共催）（6/23） 中学生による企画を中心に、よみきかせ、手品やゲーム、七夕かざりが催された。	10月	よなだっこ広場「トールペイント」開催（下米田小学校・さくらの会）（10/20） このほかにも記念館では、よなだっこ広場の活動場所として利用されている。	3月	みのかも文化団体フォーラムにおいて、さくらの会による記念館での「茶の湯」を通じた活動について、受講生が報告（みのかも文化の森）（3/2）
					下米田小学校主催により、「津田左右吉集会」が開催。土屋 保氏（元津田左右吉博士顕彰会長）が、「津田左右吉博士の少年時代」と題して講演（下米田小学校）（3/17）
7月	第23回津田左右吉賞案内を市内及び県内小・中学生及び県内関係機関へ発送（7/20～9/7） 夏の特別イベント「日本の伝統にふれる」を開催（津田記念館／さくらの会共催）（7/22） 記念館で行われている各講座の受講生による、茶の湯に加え、琴や尺八の演奏会が開催された。	11月	「第23回 津田左右吉賞 表彰式・作文発表会／記念講演会」（津田記念館）（11/10） ・小学校5・6年生の部、中学生の部、計12名が授賞 ・記念講演会「夢と友と学問（大学）—津田左右吉と駒井和愛と考古学—」 講師 井上裕一氏 （早稲田大学文化企画課長）	下米田小学校卒業式において、卒業生に記念品贈呈（下米田小学校）（3/28）	
				顕彰会便りの発行（3/31）	

コラム

— 未来の津田博士へ —

毎年行われている小中学生による、夏休みの科学作品・社会科作品展は、子どもたちの努力や研究の成果がまとめられたものです。

そのような貴重な研究に、郷土の偉人である津田左右吉博士や坪内逍遙、津田左右吉博士記念館をテーマとした作品がいくつかみられました。

美濃加茂市の子どもたちには、自分のまちや歴史を知るための素材として、大変良いテーマになるでしょう。

未来の津田博士たちが、すくすくと育ちますように…。



津田左右吉をテーマの一つとした社会科研究作品
（太田小2年生児童）